

## 環境と人間Ⅲ

持続可能な社会づくり

日時：平成24年8月4日（土） 13:00～15:00

講師：竹内 恒夫（名古屋大学大学院環境学研究科教授）

### 概況



講師：竹内 恒夫

○本題である「持続可能な社会づくり」という考え方は古代中国の老荘思想の中にも、近代のドイツ林学の中にもある。例えば、ドイツ林学では木材使用量は森林の成長量を超えてはならないというものである。

現在の考え方としては、

- ①持続可能な開発とは、「環境に配慮し、人が現在の生活レベルを維持しつつ、次世代を含むすべての人々により質の高い生活をもたらすことができる開発を目指すこと」とされている。
- ②持続可能な開発のための教育とは、「持続可能な開発の考え方を持って新しい社会を作る市民を育成する」とされている。

社会経済システムに環境配慮を織込むことが必要であるといえる。

○私達が使うエネルギーは電気である。私達は毎日、様々な形で電気を使っている。例えば、エアコン、冷蔵庫、トイレ（温水便座）、食器洗乾燥機、テレビ、パソコン等。その電気を発電するときに、多くの排熱がでる。その熱を捨ててしまっているのが現状である。電気と排熱を一体的に利用し総合エネルギーを高める、コージェネレーションを導入する必要がある。

○エネルギーに関する発電や利用等に関する制度や仕組みは、現在、国で一元的に決めているが、地方分権制度の中で地域で考え決定できるようにすべきだ。